

週間国際経済2015 (39) 12 / 23 ~ 12 / 31

12/24・外国人国債保有100兆円超 シェア10%に迫る < 1 >

9月末で101兆円、前年同期比で16.5%増 短期売買目的で金利振れやすく

12/25・来年度予算96.7兆円決定 税収増頼み歳出減進まず < 2 > < 3 >

財政健全化なお遠く、欧米に遅れ

・雇用堅調、消費は低迷 (11月) 求人倍率1.25倍 家計支出2.9%減

家計支出減は3カ月連続 広がる節約志向 暖冬追い打ち

12/26・日本転落OECD20位 昨年の一人当たりGDP

1996年は3位も2000年以降下がり続け過去最低 円安も響く

・電気自動車向け電池、中国に工場 パナソニック500億円投資

大気汚染が深刻な中国でエコカー需要狙う 2017年稼働

・エルニーニョ曇る世界経済 今年「史上最も暑い年」 エネ・穀物市況乱調

12/27・国債前倒し発行最高に 来年度上限48兆円 異次元緩和で需給逼迫に対応

15年度当初計画に比べ16兆円増 金利乱高下を防ぐため需要に応じて追加発行

12/28・邦銀ほろ苦 海外融資世界首位 欧米勢の新興国離れで浮上 < 4 >

3メガバンク4年半で2.6倍に 資源安・新興国リスクに金融庁も厳しい目

12/29・日韓 慰安婦問題が決着 外相会談「最終的かつ不可逆的に解決」 < 5 >

韓国政府が財団を設立し日本政府が10億円 安倍首相「おわびと反省」

12/30・米、慰安婦合意を「歓迎」 日米韓首脳、3月の会談検討

韓国紙、一定の評価「責任認めた」 米韓外相「合意履行が重要」で一致

12/31・ASEAN共同体 (AEC) 発足 人口6億人の巨大市場、成長加速へ

・比、アジアインフラ投資銀行に加盟 署名57カ国目

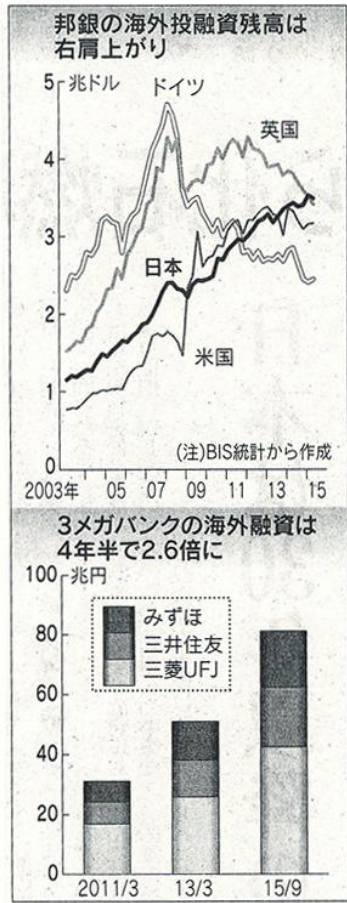
南シナ海で緊張、締切間際に インフラ不足、実利優先

・人民元の年間下落率最大 15年、対ドル4% 中国、緩和観測強く < 6 >

< 1 >



< 4 >



< 2 >

2016年度予算案の概要

一般会計総額		96兆7218億円
歳入	税 収	57兆6040億円
	税外収入	4兆6858億円
	新規国債	34兆4320億円
歳出	政策経費	73兆1097億円
	社会保障費	31兆9738億円
	地方交付税交付金	15兆2811億円
	公共事業	5兆9737億円
	国債費	23兆6121億円

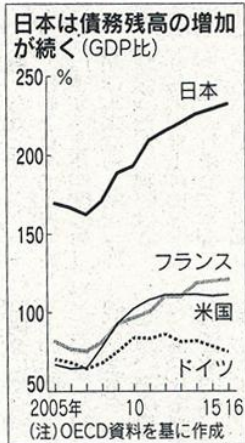
< 5 > 日韓合意のポイント

**日本は責任痛感**

慰安婦問題の最終的かつ不可逆的な解決を確認  
 軍の関与の下、多数の女性の名誉と尊厳を傷つけた問題として日本政府は責任を痛感

安倍晋三首相が心からおわびと反省の気持ちを表明  
 元慰安婦を支援するため韓国政府が財団を設立し、日本政府が10億円程度の資金を一括拠出  
 慰安婦少女像の扱いは、韓国政府が関連団体との協議を通じ解決に努力

< 3 >



< 6 >

